

【日本アспен研究所 ローダー小林奨学金】対象プログラム 「ローダー小林・ソクラテス・セミナー」 参加者募集のご案内

日本アспен研究所では、当研究所の設立・発展に尽力した小林陽太郎氏の長年の功績を称え、同氏の思いを将来世代へ継承すべく、2016 年秋に「ローダー小林奨学金」を設立いたしました。本奨学金は、日本の若手リーダーを対象に、米国アспен研究所が国内外で開催する対話セミナー「ソクラテス・セミナー」への参加を支援します。

この度、その対象プログラムとして米国アспен研究所と日本アспен研究所が共催する「第 9 回 ローダー小林・ソクラテス・セミナー」の参加者を募集いたします。今回は、**クレアモント大学院大学ドラッカー経営大学院理事・シニアフェローのライアン・パテル氏**をモデレーターに招き、「**The Mad Scientist Among Us: The Tension between Innovation and Destruction**」をテーマに対話セミナーを行います。

応募者の中から選考を経て参加者に選ばれますと、食費・宿泊費を含むセミナー参加費 US\$3,000 が本奨学金にて全額負担されます。皆様からのご応募をお待ちしております。

開 催 日：2026 年 5 月 22 日（金）～5 月 24 日（日）2 泊 3 日

Day 1 (Fri.)	1:45 p.m. – 2:30 p.m.	Introduction
	2:40 p.m. – 6:10 p.m.	Seminar Session 1
	Opening Ceremony	
Day 2 (Sat.)	8:30 a.m. – 12:00 p.m.	Seminar Session 2
	Cultural Excursion	
	Dinner	
Day 3 (Sun.)	8:30 a.m. – 12:00 p.m.	Seminar Session 3
	12:00 p.m. – 12:15 p.m.	Closing Remarks

会 場：湘南国際村センター（神奈川県三浦郡葉山町）

<https://www.shonan-village.co.jp/>

言 語：英語のみ

参 加 者：日本人 14 名前後 外国人 4 名前後

応 募 方 法：添付募集要項をご確認のうえ、電子メールにてお申込書をお送りください。

応 募 締 切：2026 年 3 月 9 日（月）

お 問 合 せ：office@aspeninstitute.jp（担当：秋山）

The Mad Scientist Among Us: The Tension between Innovation and Destruction

Innovation has been the source of increased wealth, new technologies, and growth at a rapid pace over the past two centuries. Our society either lauds the individuals who drive change as innovators, entrepreneurs, and leaders or denigrates them as mavericks out of touch with reality. Often the technologies they invent rely on creative destruction to drive their successes, but this raises the question of when it's acceptable or not. Join us for an exploration of case studies of innovators, innovation, and regulation. When does creative destruction cross the line into complete destruction? Can regulation keep guardrails on the creative process or is it always a step behind?

イノベーションは、過去二世紀にわたり、富の増大、新たな技術の誕生、そして急速な成長の原動力となってきました。私たちの社会は、変化を推し進める人々を「イノベーター」「起業家」「リーダー」として称賛する一方で、ときに「現実離れした異端者」とみなすこともあります。彼らが生み出す技術の多くは「創造的破壊」によって成功を収めますが、その手法が常に受け入れられるとは限りません。セミナーでは、イノベーター、イノベーション、そして規制に関する事例を取り上げ、この問題を皆さんと探っていきます。創造的破壊は、どこから単なる破壊へと変わってしまうのでしょうか？ 規制は、創造のプロセスにガードレールを設けることができるのか、それとも常に後手に回ってしまうのでしょうか？

Ryan Patel

Futurist, Board Director, and Senior Fellow with the Drucker School of Management at Claremont Graduate University



ライアン・パテル氏は、グローバルビジネス、政治経済、コーポレートガバナンスの分野における世界的に著名なフューチャリストです。ビジネスのスケールに関する専門家として、スタートアップから上場企業まで幅広い企業で実績を持ち、戦略的なグローバル市場開拓、事業のスケラビリティ、デジタルトランスフォーメーション、国際貿易、そして消費者主導のマーケティングに関する豊富な知見から、世界のビジネス界における有力な思想的リーダーとされています。ニュース番組へのコメンテーターとしても高く評価されており、また、クレアモント大学院大学・ドラッカー経営大学院のシニアフェローおよび企業取締役役も務めています。さらに、シリコンバレー発祥の地として知られる「HP ガレージ」で収録されている番組『The Moment with Ryan Patel』のホストも務めています。

略歴の英語版全文はこちらをご覧ください:

<https://www.aspeninstitute.org/people/ryan-patel/>

【日本アспен研究所 ローダー小林奨学金】

2026 年 募集要項

【設立の趣旨】

グローバル化が進展する今日、世界を舞台に活躍できる人材が求められており、異なる文化や宗教、社会背景を理解したうえで、多様な価値観に適応できる人間力が益々重要になってきております。

日本アспен研究所は、1977 年に米国アспен研究所の活動に触れ、強い問題意識を抱いた故・小林陽太郎氏により 1998 年に創立されました。小林氏は、日本人の思考・行動が、極端な技術偏重、哲学の希薄なテクノクラシーから、明確な価値観と目的意識に裏付けられた、より大きく豊かなものへと脱皮する必要性を痛感し、創立に多大な熱意を注ぎました。以来、理事長として 16 年にわたり当研究所の活動を牽引してきました。

ローダー小林奨学金は、長年の盟友であったレナード・ローダー氏（米国アспен研究所元名誉会長、米国エスティ・ローダー社元名誉会長、2025 年 6 月逝去）と小林夫人の篤志により、故・小林陽太郎氏の長年の功績を称えとともに、当研究所創立に込められた小林氏の思いを今後の世代へ継承すべく、設立されたものです。近年の日本が内向きになっていることを懸念しておられたローダー氏の思いも酌み、本活動が、今後グローバルに活躍する人材育成の一助になることを心から願っております。

【概要】

ローダー小林奨学金は、産業界、官界、政界、学界、NGO 等で活躍する日本人のヤング・リーダーを対象に、日米のアспен研究所が共同で開催する「ローダー小林・ソクラテス・セミナー」をはじめ、米国アспен研究所およびその国際パートナー※が開催する各種プログラムへの参加を支援します。本奨学金がグローバルに活躍する人材育成の一助となることを目的としています。

※日本、ドイツ、フランス、イタリア、インド、ルーマニア、スペイン、セントラルヨーロッパ、メキシコ、キーウ、ニュージーランド、イギリス、アフリカ・ナイロビ、コロンビア（2025 年 12 月現在）。

I. 対象プログラム

■ローダー小林・ソクラテス・セミナー(日本国内開催)

米国アспен研究所と日本アспен研究所が日本国内で共催する「ローダー小林・ソクラテス・セミナー」の参加費用※を提供。本セミナーは、米国アспен研究所から派遣されるモデレーターによる、英語のテキストを用いた、英語で行う 2 泊 3 日の対話セミナーです。

■その他のソクラテス・セミナー（日本国外開催）募集準備中

米国アспен研究所および、日本以外の国際パートナーが各地で開催する「ソクラテス・セミナー」を主とするプログラムへの参加費用※¹を提供。

※奨学金適用範囲の詳細は末尾の「奨学金提供にかかる留意事項」をご参照ください。

II. 募集人数

■ローダー・小林・ソクラテス・セミナー(日本国内開催)

14 名前後

※日本国籍を有する方 14 名前後に加え、他の国籍を有する方が 4 名前後参加します。

※原則として、日本国籍を有する方が本奨学金の提供対象となります。

■その他のソクラテス・セミナー（日本国外開催）募集準備中

若干名

※日本国籍を有する方が対象です。

※各国アспен研究所で開催予定が決まり次第のご案内となります。

III. 応募要件

1. 日本国籍を有する 30 歳前後から 50 歳までの方。
2. 産業界、官界、政界、学界、NGO 等でリーダーとして活躍中もしくは今後活躍が期待される方。
3. プログラムの全日程の参加が必須です。一部日程の参加は奨学金の提供対象外です。
4. 事前に、参加承諾書の提出が必要です。
5. 参加後、レポートの提出が必要です。※A4 用紙 1 ～ 2 枚。形式は自由。提出期限は参加後 3 週間以内。
6. 参加後、当研究所の会議・セミナー等において、口頭でのご報告をお願いする場合があります。
7. 当研究所の理事・監事・会員企業および団体に所属する方からのご応募は、人事部などの窓口を通して受け付けております。ご応募の前に、ご所属先の担当部署へご相談くださいますようお願い申し上げます。担当部署が不明の場合、当研究所事務局（秋山）までお問い合わせください。

◆日本アспен研究所 理事・監事・諮問委員

<https://www.aspeninstitute.jp/about/board/>

◆日本アспен研究所 正会員・賛助会員

<https://www.aspeninstitute.jp/about/member/>

IV. 応募手続き

募集要項末尾の「奨学金提供にかかる留意事項」を必ずご一読のうえ、申込書に必要事項を記入し、事務局（office@aspeninstitute.jp）へ E メールにてご提出ください。

※参加可否について事務局にて審査の上、募集締切後 1 週間をめぐにご連絡いたします。

【ソクラテス・セミナーとは】

<https://www.aspeninstitute.org/programs/socrates-program/>

ソクラテス・セミナーは、米国アспен研究所の「ソクラテス・プログラム」が米国の主要都市やメキシコ、ウクライナ、スペイン、コロンビア、日本などで展開している英語の対話セミナーです。すでに 20 年以上の歴史があり、卒業生は国内外で 7000 人以上にのぼります。

セミナーでは、民間企業から政府関係者、非営利団体、起業家、学者まで幅広い分野の新進リーダーが国境を越えて集い、現代社会が直面する課題について対話・思索を深めます。セミナーごとに時勢を反映したテーマが取り上げられ、各テーマに精通した経験豊かなモデレーターがテキストを編集し、実際の対話の進行役も担います。

事前に配布されるテキストには、テーマに関連した最新の論文や記事のみならず、共通する問いをはらむ古典作品からの抜粋が含まれます。参加者はテキストを通読したうえで、対話に臨みます。「ソクラテス」と冠する通り、対話は一つの正解を求めるものではなく、多彩な視点を尊重し合い、価値に基づくリーダーシップを醸成することを目指すものです。

プログラム期間中は、対話セッションの他に文化活動やディナーなど懇親の機会が豊富に組まれています。そこで生まれる参加者同士のネットワークや一体感は、将来にわたってかけがえのない財産となります。

本奨学金による参加者からは、「対話を通して答えを導き出す今回の経験は、一過性のアウトプットだけでなく、めまぐるしく変化を続ける世界でより大きな視野で貢献を行うための糧となると確信した」、「新たな仲間と出会い、新たな知を得るとともに、さらなる自己研鑽の必要性を強く感じた」、「様々な立場の参加者と意見交換・議論をすることができる貴重な機会。多角的な視座こそがビジネスを見通す力の一つとして重要だと改めて認識した」、「結論を追い求めないスタイルは考え方の柔軟化や知の追求において非常に有益と実感した」といった感想を得ています。



【奨学金提供にかかる留意事項】

■ローダー・小林・ソクラテス・セミナー(日本国内開催)

＜奨学金の適用範囲＞

1. プログラム受講料
2. プログラム期間中の食費
3. プログラム期間中の宿泊費

＜奨学金の適用範囲外（参加者負担）＞

1. プログラム開催地までの交通費
2. プログラム期間前後の宿泊費
3. プログラム開催地域での私用の交通費

＜その他＞

1. プログラムの全日程の参加が必須です。一部日程の参加は奨学金の提供対象外です。
2. 参加後、レポートの提出が必要です。
3. 参加後、当研究所の会議・セミナー等において、口頭でのご報告をお願いする場合があります。

■その他のソクラテス・セミナー（日本国外開催）

＜奨学金の適用範囲＞

1. プログラム開催地までの直行直帰の往復航空運賃*1
区間：本人居住地の最寄り空港 ⇄ プログラム会場の最寄り空港
クラス：エコノミー
2. プログラム受講料
3. プログラム期間中の食費
4. プログラム前日および期間中の宿泊費*2*3

- *1 他都市への立ち寄りなど、上記区間と異なる経路を利用する場合は、参加者本人にて航空券の手配をお願いいたします。その際、航空運賃は奨学金の適用外となり、奨学金としてプログラム参加費、食費、宿泊費が提供されます。
- *2 前泊はプログラムを主催する各国アспен研究所が指定する施設に限ります。前泊の際の食事代は参加者負担となります。
- *3 プログラム終了日に移動の手段がない場合、プログラムを主催する各国アспен研究所が指定する施設での宿泊費を適用範囲とします（例：日本への帰国便が翌朝出発の場合）。後泊の際の食事代は参加者負担となります。

＜奨学金の適用範囲外（参加者負担）＞

1. 海外旅行保険費用*4
2. パスポート、VISA（ESTA 含む）取得費用
3. 居住地と最寄り空港間の交通費（例：自宅～成田空港間の交通費）
4. プログラム開催地域での私用の交通費※5

5. プログラム期間中、オプションの活動に参加する費用（例：ハイキングやスキーなど）

- *4 移動中、滞在中の事故等について、日本アспен研究所は責任を負いかねますので、海外旅行保険に各自加入されることを推奨いたします。
- *5 多くの場合、宿泊施設とプログラム会場間のシャトルサービスがあります。

<その他>

1. プログラムの全日程の参加が必須です。一部日程の参加は奨学金の提供対象外です。
2. プログラム参加にかかる航空券・宿泊は、上記適用範囲内において、通常、米国のアспен研究所事務局にて手配いたします。
3. 参加後、レポートの提出が必要です。
4. 参加後、当研究所の会議・セミナー等において、口頭でのご報告をお願いする場合があります。

■キャンセルポリシー

参加決定後にやむを得ずキャンセルされる場合は、日本アспен研究所へ電話でご連絡いただくとともに、プログラムを主催する各国研究所へ書面を提出していただきます。各国ごとに定められたキャンセルポリシーに基づき、キャンセル料をお支払いいただきます。

<ローダー・小林・ソクラテス・セミナー(日本国内開催)>

- セミナー開催 45 日前～当日
実費相当等のキャンセル料をお支払いいただきます。

<米国で開催されるソクラテス・セミナーの場合>

- セミナー開催 45 日前まで
一律 \$ 75
- セミナー開催 45 日前～30 日前
受講料の 25%
- セミナー開催 29 日前～15 日前
受講料の 55%
- セミナー開催 14 日前～当日
受講料全額

※上記に加え、宿泊や航空券のキャンセル料が発生する場合があります。

【問合せ・申込先】

一般社団法人日本アспен研究所
〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ルークス六本木ビル 2 階
03-6438-9208 / office@aspeninstitute.jp（担当：秋山）



一般社団法人日本アспен研究所

ローダー小林奨学金申込書

申込日： 年 月 日

応募プログラム	第 9 回 ローダー小林・ソクラテス・セミナー 2026 年 5 月 22 日～5 月 24 日 神奈川県・湘南国際村センター開催
応募締切	2026 年 3 月 9 日（月） ※選考結果は締切後 1 週間をめぐにご連絡いたします。

氏名（日本語表記）	
氏名（英語表記）	
企業・団体名	
企業・団体名（英）	
部署・役職	
部署・役職（英）	
所在地	〒
電話	
E-mail アドレス	
生年月日	年 月 日生まれ （ ） 歳
国籍	
英語力	各種英語検定のスコアや業務使用状況等

応募動機（参加の抱負、期待すること）：

主な職務経歴：

現職内容：

海外渡航・滞在経験（具体的にお書きください。別紙添付も可）：

1	時期	年 月～ 年 月	滞在国・地域	
	目的			
2	時期	年 月～ 年 月	滞在国・地域	
	目的			
3	時期	年 月～ 年 月	滞在国・地域	
	目的			

【お問合せ・申込み先】

一般社団法人日本アспен研究所

〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ルクス六本木ビル 2 階

03-6438-9208 / office@aspeninstitute.jp（担当：秋山）